

……プロローグ……

「文化の創造と継承」

私は、東大阪青年会議所（通称JC）に女性第一号の会員として入所した時から、常に東大阪の為に何か形あるもので、貢献したいと考えてきました。それは、約十五年後に、『恋の長瀬川』という東大阪の応援ソングで実現することができました。

東大阪の旧大和川流域には、五つの大学が集まっています。このように複数の大学が集まっている街はそう多くはないのですが、東大阪の教育水準は、残念ながら全国的にみても、とても低い状況だと言わざるを得ません。

そこで、教育水準の向上のため、文化の薫りがするような伝統が必要だと思いました。

そのような折、八年ほど前、河内音頭の第一人者である河内屋菊水丸さんが、東大阪のご当地ソングをプロデュースしてくださいました。作詞は菊本英之先生、作曲は、石田雄一先生が担当してくださいました。

河内屋菊水丸さんは、夏の甲子園にも大阪代表として出場の経験を持つ、大阪偕星学園高等学校相撲

部（旧称は此花学院高等学校）の出身で卒業後、吉本興業に所属されています。

『恋の長瀬川』は、菊水丸さんから東大阪のご当地ソングとして、永遠に人々から愛される愛唱歌なる思いを込めてご提案くださったものなので、縁を大切にされる菊水丸さんのお気持ちにもお応えするべく、私たちはこの歌をもっと広めていきたい気持ちで日々努力しております。

ご当地ソングですから、歌詞には長瀬川（旧大和川）の名称と樟徳館（歴史的建造物）、学園通り（近畿大学のまなびや通り）という言葉がはいっています。実際に完成した歌詞を見てください。